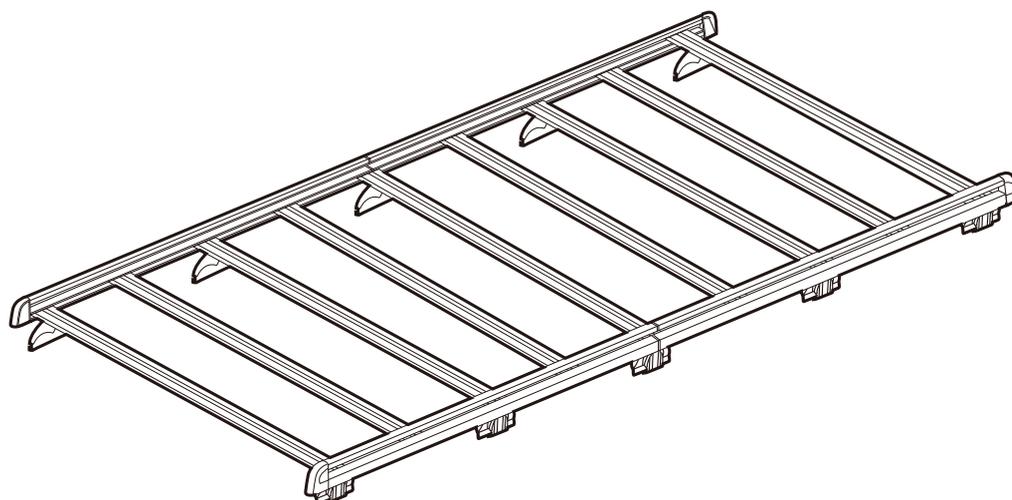


vehicle ルーフキャリア RC320 取扱説明書

本品の取り扱いの前に、必ず本書をよく読んで内容を十分に理解してからご使用ください。本書をお読みになった後は大切に保管してください。また、本品をゆずられる場合は、次に使用される方に本書も併せてお渡しください。



⚠警告 警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

- 必ず本書をよくお読みのうえ、指定された位置に正しく取り付けてください。
- 本品を改造しての使用はしないでください。
- 走行前にラックを前後・左右・上下にゆすり、固定部のユルミによるガタツキがないか必ず確認してください。
- 本書記載の積載条件を守ってください。
- 法定速度を守り、強風時や悪路では速度を落として走行してください。
- 急ハンドル・急ブレーキをした場合は、必ずラックや積載物の取付状態を確認してください。
- 連続高速走行、気象条件による規制速度走行、悪路走行をした場合は、必ずラックや積載物の取付状態を確認してください。
- 他メーカーとの併用はしないでください。

⚠注意 注意事項を守らないと、ケガを負ったり、物的損害が生じる場合があります。

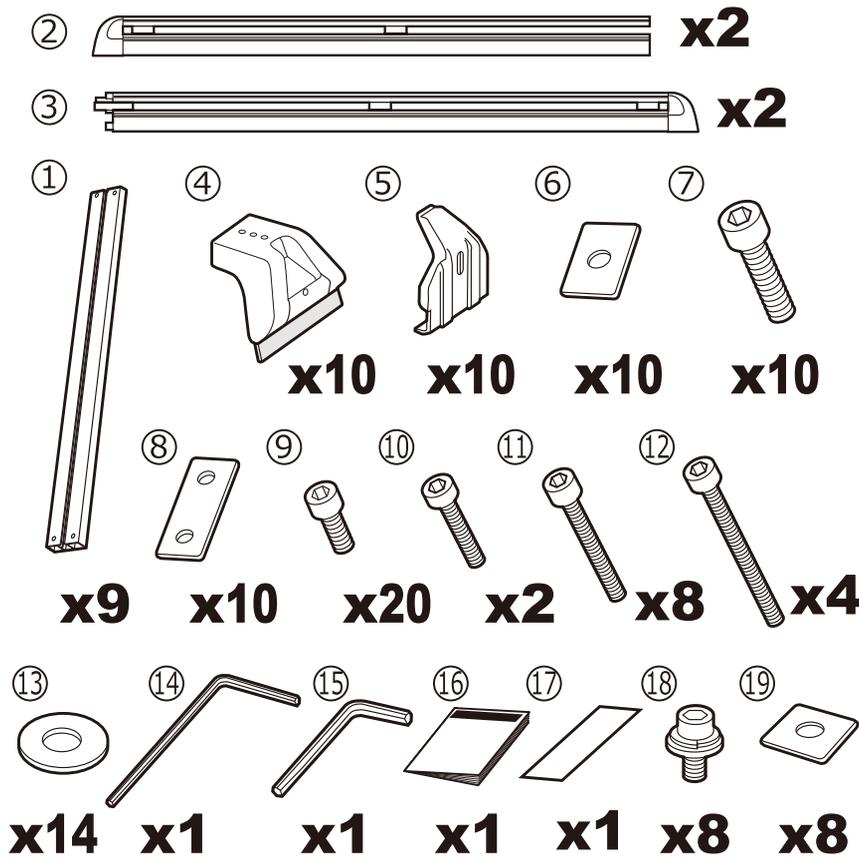
- 本品の上に乗らないで下さい。
- ラック装着時は車高が高くなっておりますので、注意して走行してください。

👉参考 本品を使用するうえで、知っておいていただきたいことについて説明します。

- 本品の取り付けに支障がある場合は、車両についているアクセサリーを取り外す場合があります。
- 変形、キレツ、傷等、不具合のある部品は使用せず、速やかに交換してください。

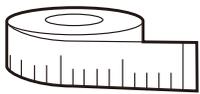
部品内容

No.	部品	
①	フロアパネル	
②	サイドパネル L	
③	サイドパネル R	
④	ベース	⑤,⑥,⑦は ベースに組み込 まれています。
⑤	フック	
⑥	フックプレート	
⑦	M8×35ボルト	
⑧	パネルプレート	
⑨	M6×15ボルト	
⑩	M6×35ボルト	
⑪	M6×50ボルト	
⑫	M6×70ボルト	
⑬	ワッシャー	
⑭	六角レンチ(B=5)	
⑮	六角レンチ(B=6)	
⑯	取扱説明書/本書	
⑰	スペックシール	
⑱	取付ボルト	
⑲	プレート	

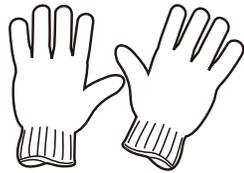


1 本体を組み立てる

取り付けに必要な工具



メジャー



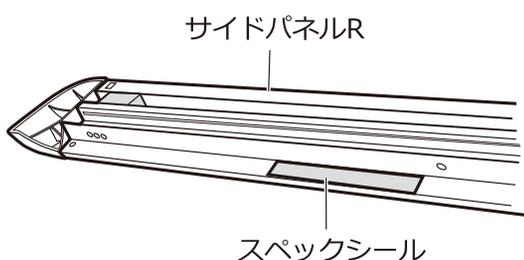
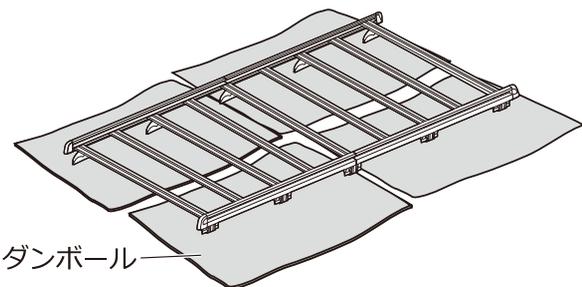
軍手

⚠ 注意

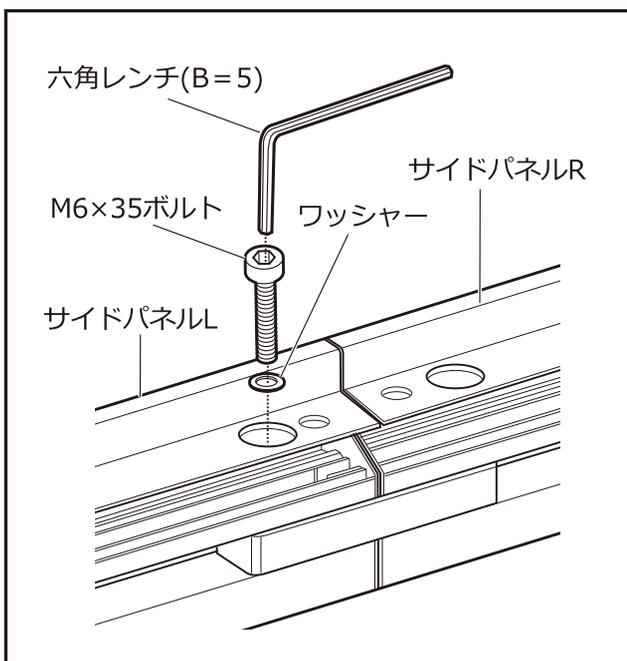
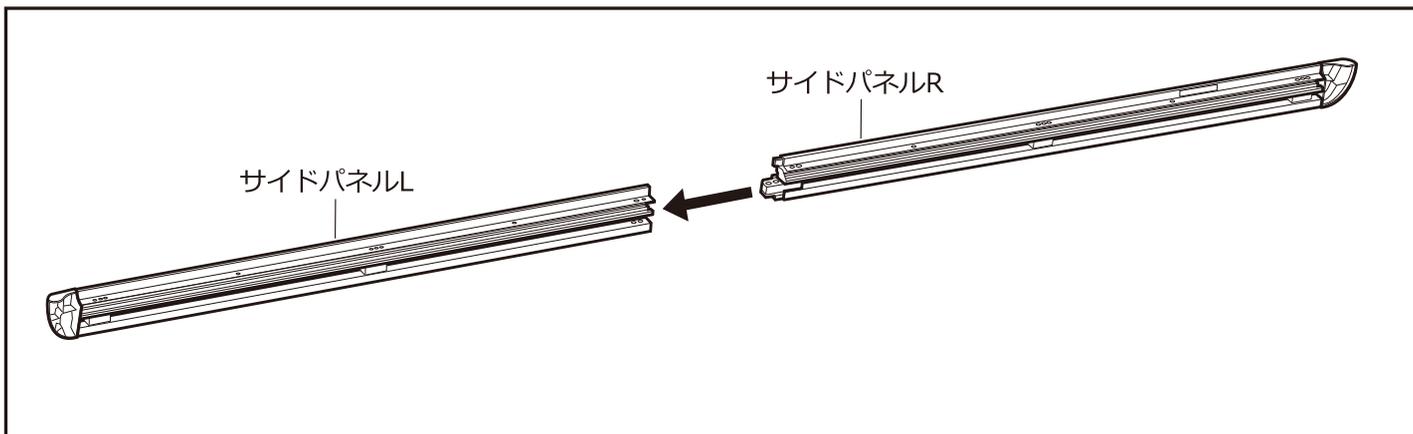
- 組み立ての際は必ず軍手・手袋を使用してください。アルミ端面で手や指を傷つけるおそれがあります。
- 本品を車両に取り付け・取り外しする際は、車両を傷つけないように注意してください。
- キャリア装着前には、車両汚れやホコリが無いようにきれいにしてください。

📖 参考

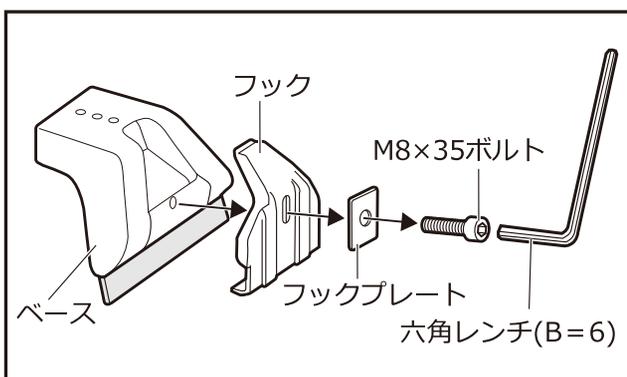
組立作業は、平らなところにダンボール等を敷いて行ってください。地面で直に行くと、製品が傷つきます。



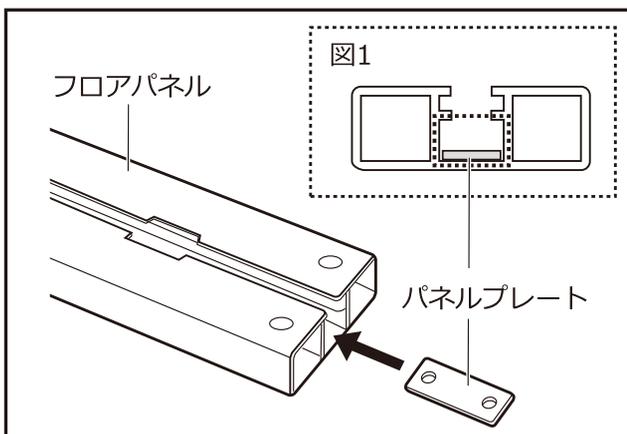
1 サイドパネルRの裏面の図の位置に、スペックシールを貼る。



2 サイドパネルを裏返し、サイドパネルLにサイドパネルRをはめこみ、ワッシャーを通したM6x35ボルトで固定する。
(左右計2ヶ所 5N・m)



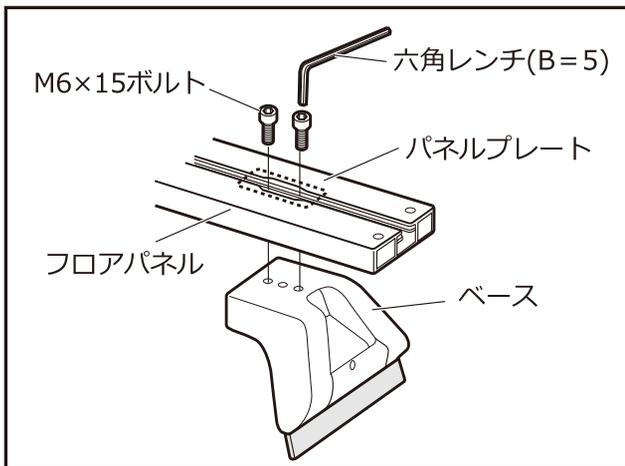
3 M8x35ボルトをゆるめてベースからフックとフックプレートを取り外す。



4 フロアパネル5本にパネルプレートを入れる。
(左右計10ヶ所)

参考

図1の点線部にパネルプレートを入れてください。

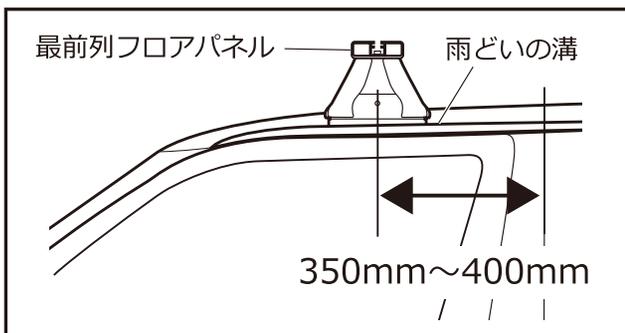


5 M6x15ボルトでフロアパネルの中に入れたパネルプレートをベースに仮止めする。
(左右計20ヶ所)

参考

フロアパネルとベースの仮止め部は車両に載せた後に位置調整を行います。

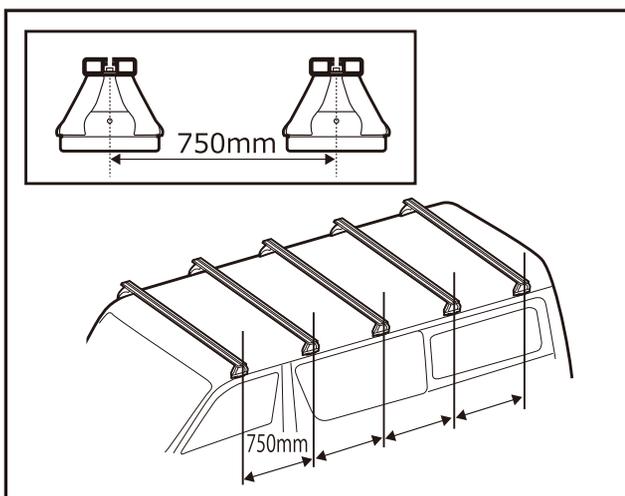
2 クルマへ取り付ける



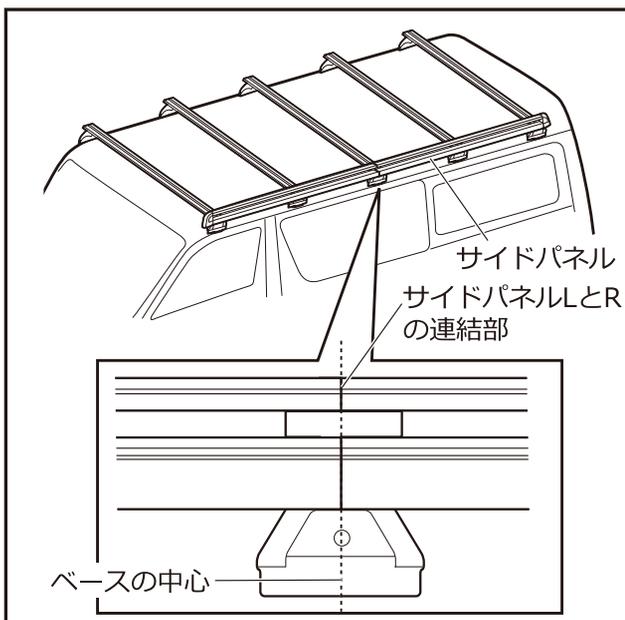
1 最前列のフロアパネルを雨どいの溝に載せる。

参考

スライドドア隙間からフロアパネルの中心までが350mm~400mmになるように載せてください。



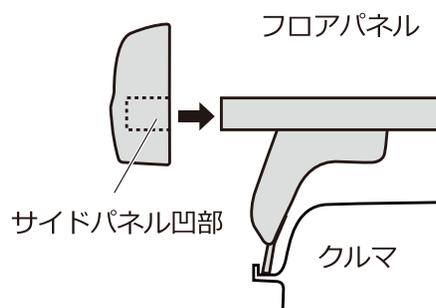
2 各フロアパネルの間隔が750mmになるように、ベースを仮止めしたフロアパネル5本を雨どいの溝に載せる。

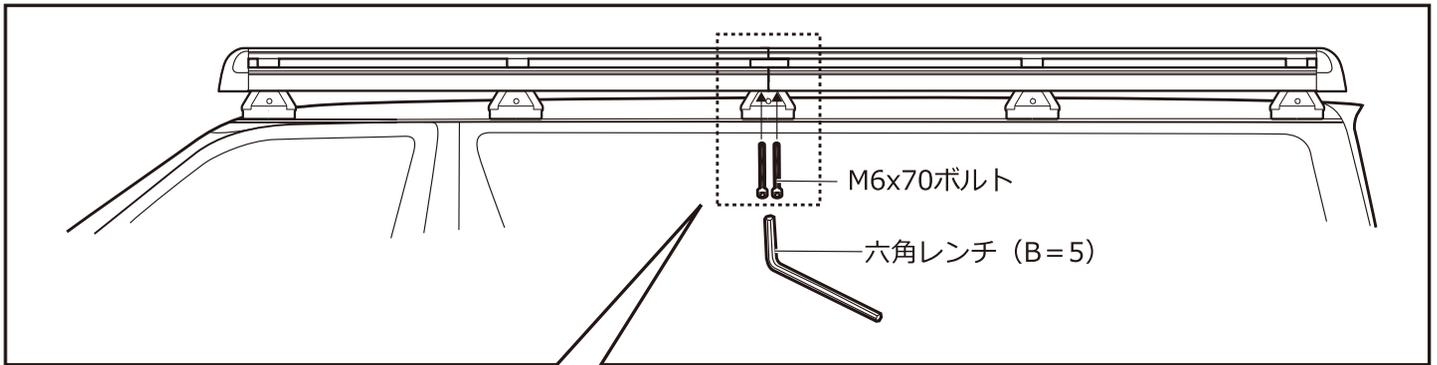


3 サイドパネルのLとRの連結部が中央のベースの中心にくるように合わせ、フロアパネルにはめ込む。

参考

フロアパネルをサイドパネルの凹部にはめ込んでください。

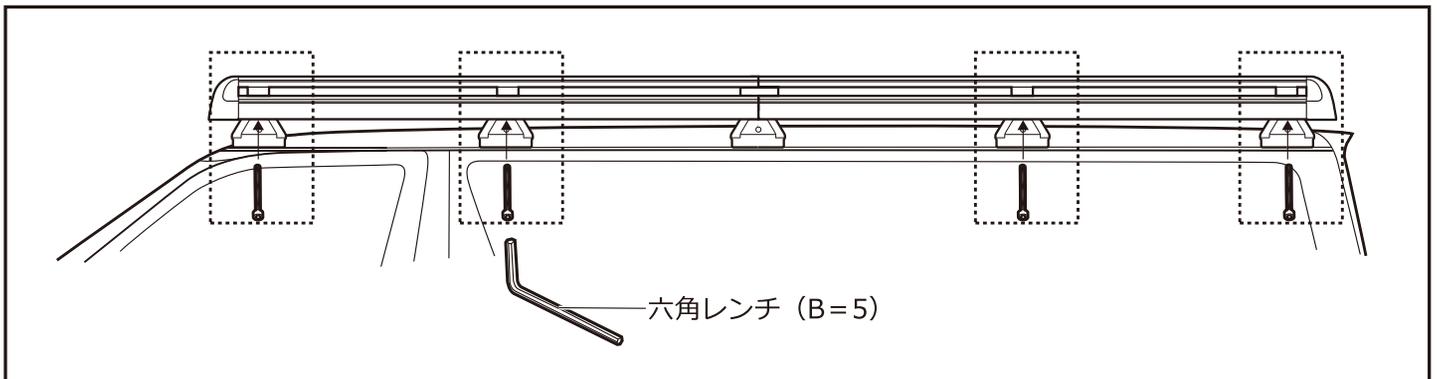
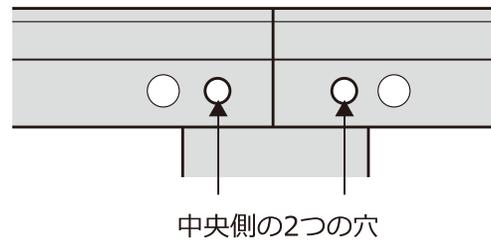
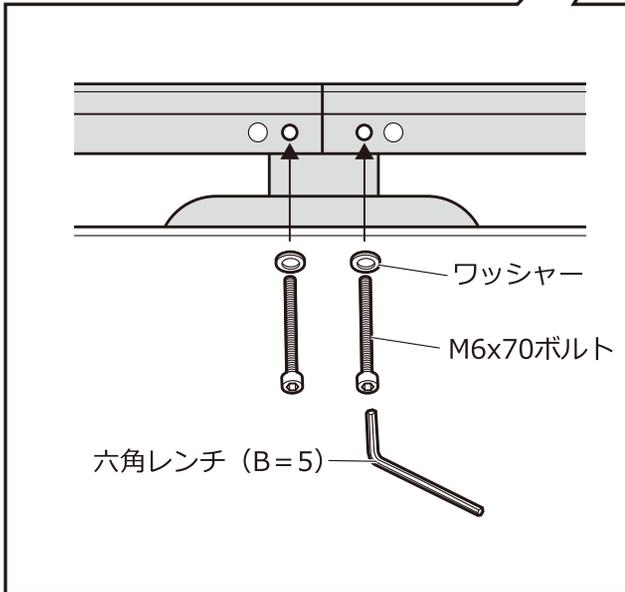




4 中央のフロアパネルとサイドパネルの連結部を、サイドパネルの底面からワッシャーを通したM6x70ボルトで固定する。
(左右計4ヶ所、5N・m)

参考

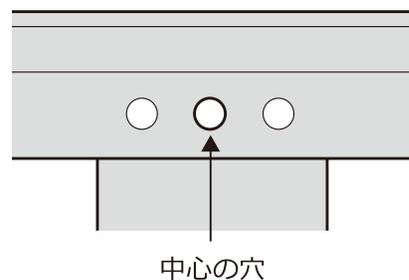
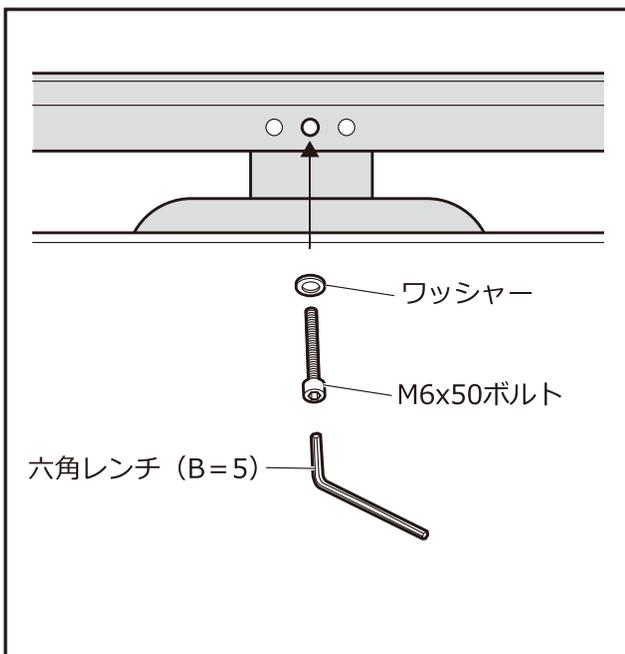
4つのネジ穴のうち、中央側の2つを使用してください。

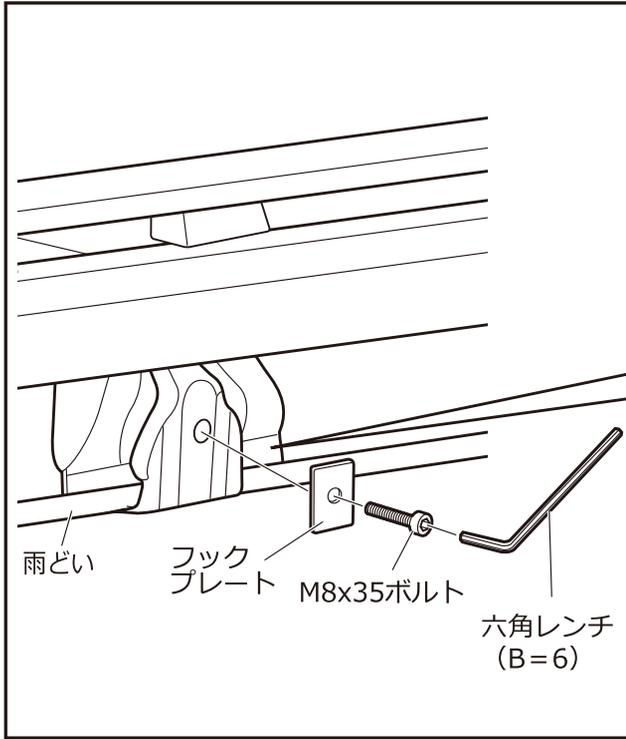


5 中央以外のフロアパネルとサイドパネルをサイドパネルの底面からワッシャーを通したM6x50ボルトで固定する。
(左右計8ヶ所、5N・m)

参考

3つのネジ穴のうち、中心を使用してください。

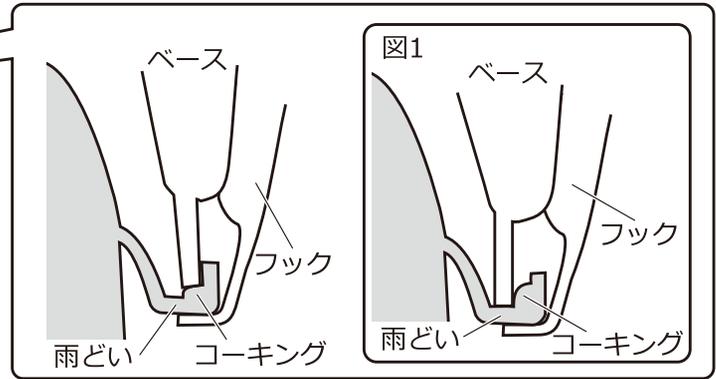




6 雨どいの溝に差し込んだベースを外側に引っ張り、雨どいに引っ掛けたフックをフックプレートに通したM8x35ボルトでベースに仮止めする。(左右計10ヶ所)

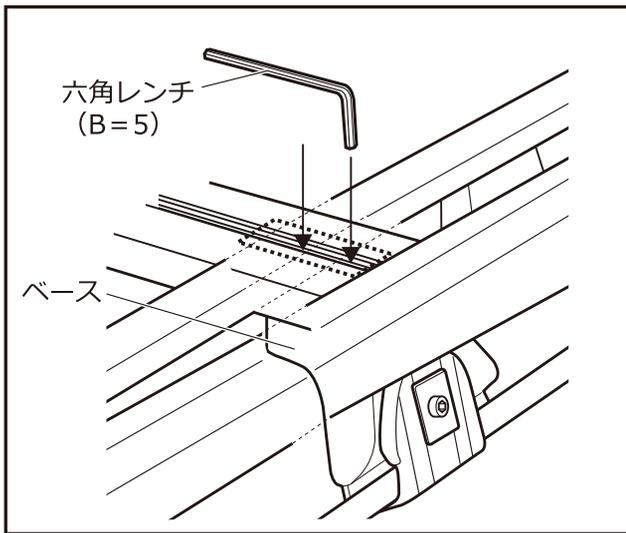
警告

フックプレートは必ず縦向きに通してください。ボルトがゆるみ、ラックが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

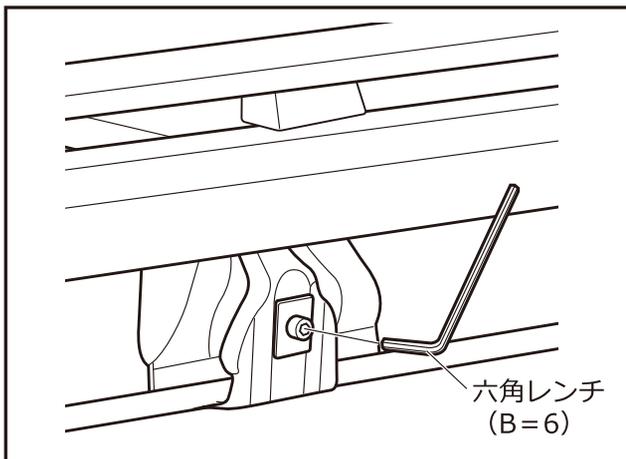


参考

コーキング部（もりあがり）が大きい場合、図1のようにベースをコーキングの内側にしてください。



7 仮止めしていたフロアパネルとベースを固定する。(左右計20ヶ所、10N・m)



8 仮止めしていたフックとベースを固定する。(左右計10ヶ所、5N・m)

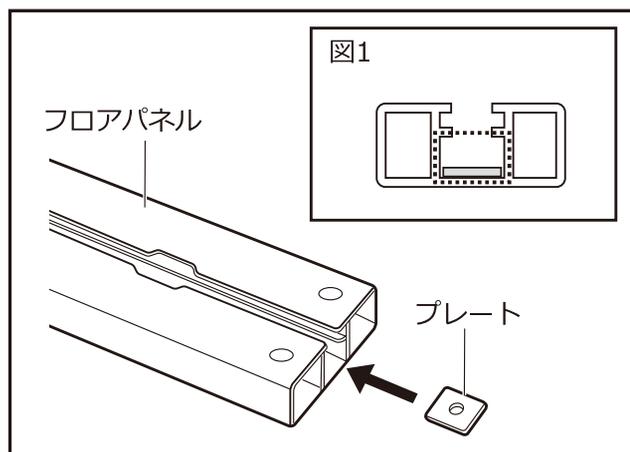
警告

ボルトにグリース等の油類は絶対につけないでください。締めすぎにより、車両やフックが変形する場合があります。

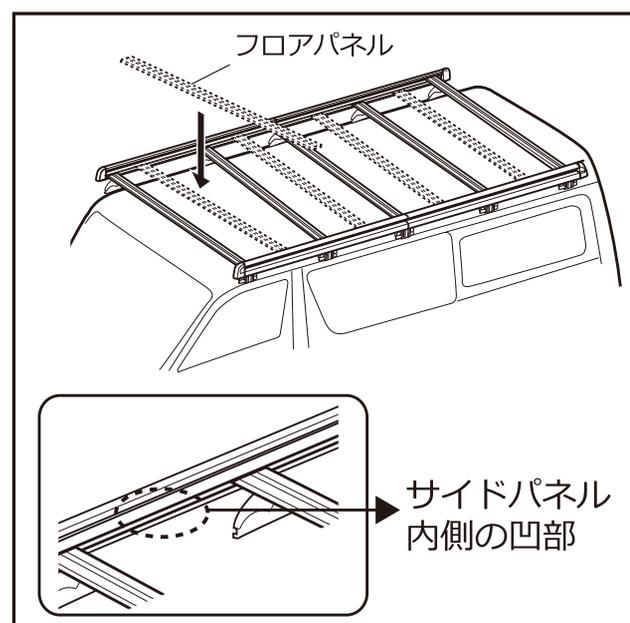
注意

運転席側、助手席側を交互に均等に締め付けてしっかりと固定してください。

3 追加のフロアパネルを取り付ける



1 追加フロアパネル4本にプレートを入れる。
(左右計8ヶ所)

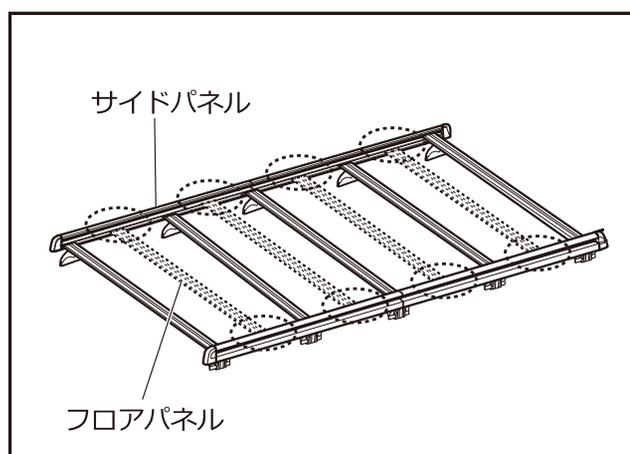


2 フロアパネルを斜めにして、サイドパネル内側の凹部に差し込む。

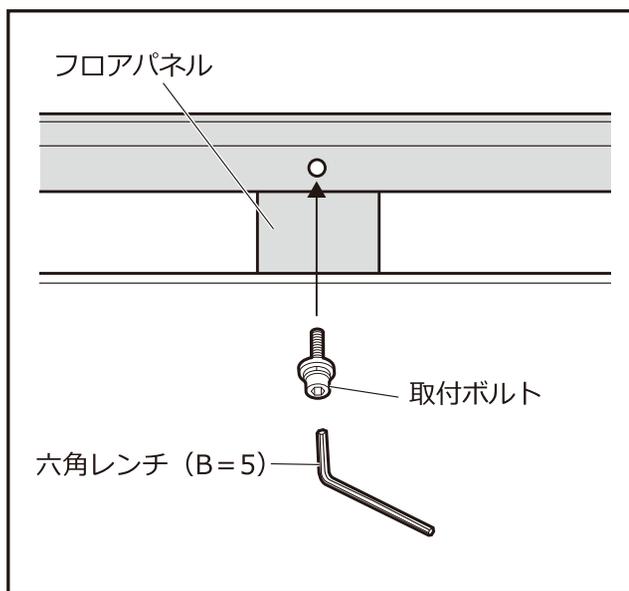
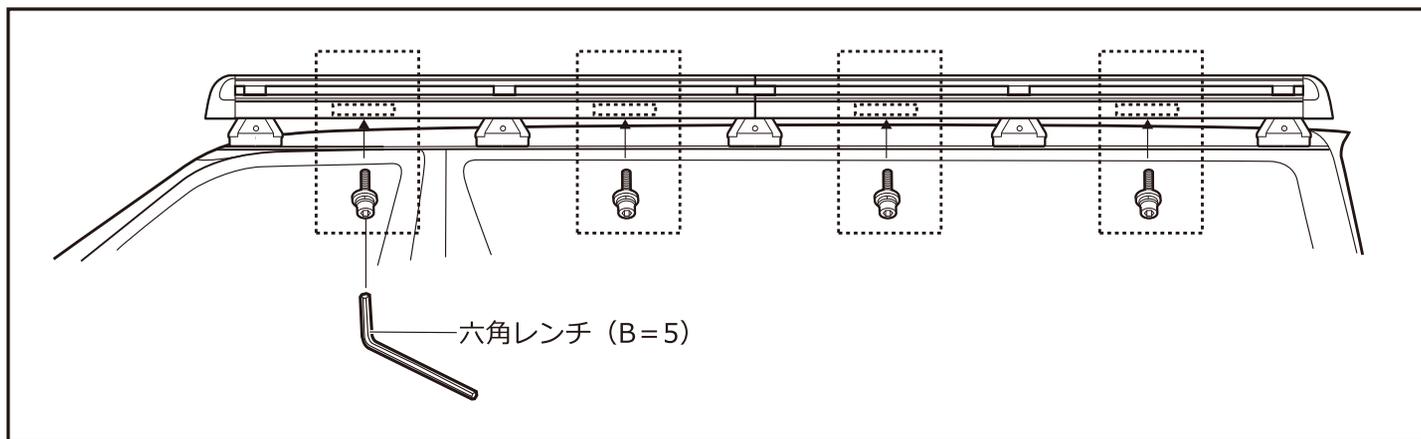


注意

フロアパネルは地面と平行にした状態で差し込んでください。
追加のフロアパネルからプレートが落下し、車両に傷がつくおそれがあります。

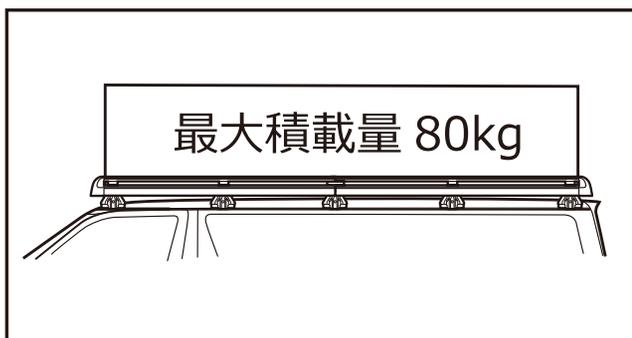


3 フロアパネルとサイドパネル凹部のネジ穴を合わせる。(左右計8ヶ所)



4 フロアパネルをサイドパネルの底面から取付ボルトで固定する。
(左右計8ヶ所 5N・m)

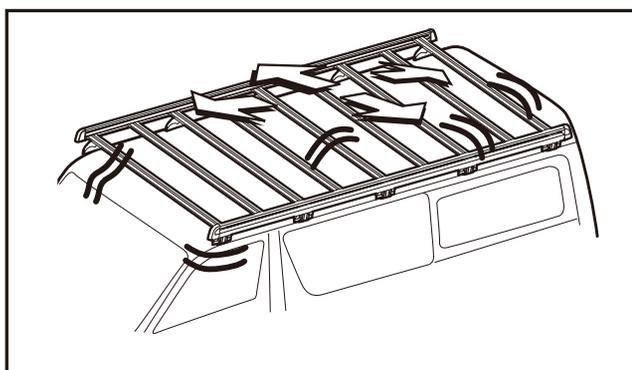
4 荷物を積載する



1 積載物の重量が80kgを超えていないことを確認する。



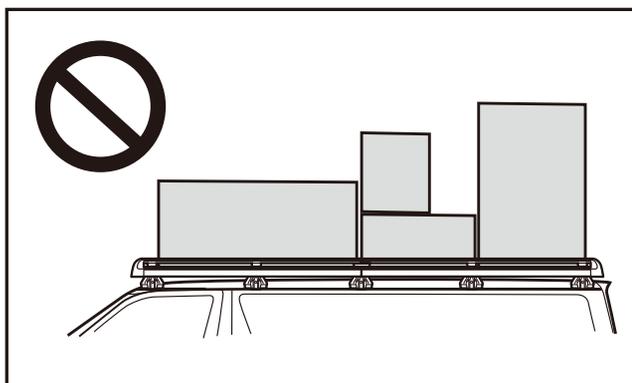
警告
最大積載量以上の荷物を入れるとラックが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



2 走行前は必ずラックを前後・左右にゆすり、ボルトの緩みによるガタツキがないか、車両に確実に固定されているか確認する。緩みがある場合は、増締めする。



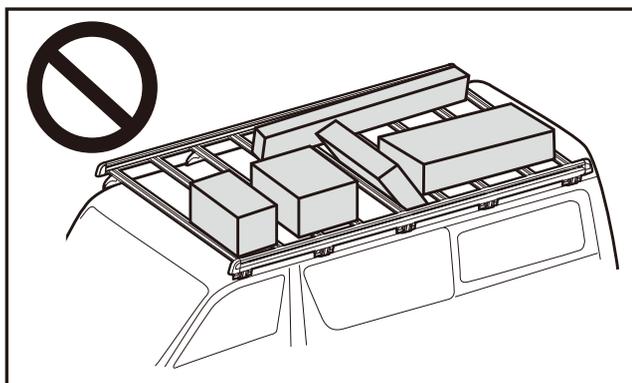
警告
ボルトの緩みがあると、走行時の風圧、振動によりラックが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



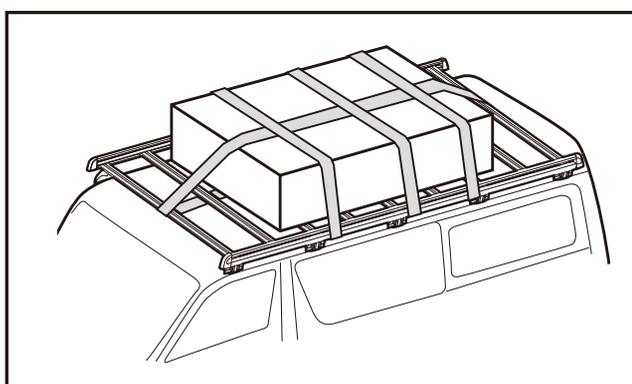
3 荷物を均等に積載する。



警告
ラックの前側や後側に片寄って積載すると、ラックが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



警告
フロアパネル間の隙間より小さい荷物を積載しないでください。走行中に荷物が脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



4 積載物をベルトやロープで固定する。



警告
積載物は必ずベルトやロープで固定してください。ネットだけで積載物を固定しないでください。積載物が確実に固定されていないと走行中に積載物が脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

日常のお手入れ/保管方法

本品が汚れた場合は、水洗いをしてください。

警告

- 潤滑スプレー/油/グリス/シンナー/洗剤等は使用しないでください。本品の素材が劣化し、破損・脱落するおそれがあります。また、ネジやボルトへは注油しないでください。
- 長期間使用しない場合は車両から外して各部を点検して、直射日光の当たらない乾燥した室内に保管してください。
- 洗車機にかける時は、ラックを取り外してください。誤って、ラックを取り付けたままで洗車機にかけてしまった場合は、必ずラックの取付状態を確認してください。

免責事項

弊社は、以下の内容について一切その責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

1. 弊社製品はお客様の責任において利用されるものとし、弊社は、本規約に明示的に定められている場合を除き、弊社製品の利用について責任を負いません。
2. 弊社は、弊社が提供する製品が将来にわたり正常に機能すること、ならびに、全ての車両において利用できることを保証するものではありません。また、弊社製品の使用時に発生した、お客様の車両、または積載物の損傷についても、弊社は一切責任を負いかねます。
3. お客様による過誤、管理不十分、または第三者による不正使用等により、お客様または第三者が損害を被った場合、弊社は当該損害に関して一切責任を負わず、これにより弊社が第三者等より請求等を受けた場合、お客様は弊社を防御し損害を補償するものとします。
4. 前各項にかかわらず弊社に故意または重過失等、帰責事由がある場合には、弊社は損害賠償責任を負います。ただし、社会通念上、通常発生するものと考えられる損害については責任を負わないものとします。

お問い合わせ先

商品については、購入した販売店または株式会社ユーアイへお問い合わせください。なお、誤った取り付けや使用、改造しての使用、台風等の天災による事故の責任は一切負いかねます。製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社 ユーアイ

〒587-0063

大阪府堺市美原区大饗 158-1

TEL:0120-190-200

MAIL:info@ui-vehicle.com

https://www.ui-vehicle.com